



勉強法マニア

会員 平木 太生 (70期)

1 趣味=勉強

「趣味は勉強です」。弁護士になった当初は自己紹介をする機会も多く、このキャッチフレーズで多くの方に私を覚えていただいたと思う。

そう、私の趣味は勉強だ。少し前までは何となく恥ずかしくて言わなかったし、自分でもそこまで実感していなかったが、やはり私は勉強が好きだ。ただし、勉強といっても、新たな知識を吸収したり、新たな資格を名乗れるようになったりというのは実はあまり興味が無い。私が最も興味があるのは「勉強方法を考えること」である。

私は少し変わった経歴で弁護士になった。大学三年時に公認会計士試験に合格し、大学卒業後は大手の監査法人で4年ほど実務を経験した。そこから一念発起し、司法試験予備試験ルートで司法試験に合格し、今は弁護士として働いている。

一見すると綺麗な経歴であるが、高校時代の成績はとても悪かったし、大学もそこまで良い大学出身ではない。私の人生を変えたのは、大学の公認会計士試験受験時代に通っていた予備校で、「勉強方法」に出会ったことにある。勉強方法を考え、試し、選択し、持続するようになってから、勉強がとても得意になった。

2 周りに勉強方法を伝えたい

私は、勉強方法を変えることで人生が変わる（変わった）と考えているが、司法試験を受験しているとき、ふと「なんで学校では勉強の知識ばかり教えて、勉強方法は教えてくれないんだろう」と本気で考えるようになった。なりたい職業、やりたいことがあるのに勉強が得意でないからなれない。そんな人を少しでも救うべく、いくつかの活動を行っている。

(1) まずはブログ。人に想いや情報を伝える王道ツールだが、受験時代に作った勉強方法ブログはとても

好評で、ハンドルネームの「jiji たん」は恥ずかしながら人気ブロガーとも呼ばれるほどになった。

(2) 次に予備校講師。司法試験に限らず予備校講師はテキストに沿って各科目の授業をするものが多いが、敢えて知識は教えず、「勉強方法」のみを10時間語り尽くすという講義をさせていただいた。こちらもとても好評をいただいている。

(3) 更に、珍しいのが、個展。個展というと絵画や写真などの芸術品を飾るものが多いが、芸術品に縛られる必要はない。日本初？と考えられる「勉強法の個展」を開催した。こちらもとても好評で、地元新聞の一面に掲載されたりもした。



勉強方法の個展の様子

3 いま勉強しているもの

今は中国語の勉強をしている。仕事で中国人経営者に触れる機会があったことが勉強を始めた理由だが、自分の勉強方法が語学の勉強にも通用するものなのかとても興味がある。本記事執筆時点ではまだ勉強を始めて1ヶ月ちょっとだが、いま試している勉強方法は、①単語増強と②Skypeレッスンの2つ。①は毎週単語を100語覚えている。②は現地の中国人の先生と毎日欠かさず30分お話をしている。あと1年で中国語が話せるようになるのが目標だが、1年後の自分はどうなっているのか。今から楽しみである。